

# 「ひきこもり・不登校・発達障がい等の課題をもった子どもたちへの具体的な対応」講座

不登校の生徒の数は以前のような増加はしていないものの、横ばいの状態が続いています。一方で学校を卒業、中退してからもなかなか家を出られずに、ひきこもってしまっている若者は増えている状況です。その中には発達障がいの診断を受けている子どもたちも多くいることが知られるようになってきました。そして、不登校の生徒たちへの対応方法と発達障がいを持った不登校の生徒の対応方法は同じではなく、それぞれに適切な対応をすれば、快適な学校生活・社会生活が過ごせることがわかってきています。

この講座は、ひきこもりの経験を持ち、その経験を著書『不登校、ひきこもり—こころの解説書』にしている本校教頭の金馬宗昭が、自らの経験を通して不登校やひきこもりの子どもたちの声を「翻訳」し、わかりやすく解説して、ひきこもりの状態から次のステップへと歩むために心がけておくべき事や、声掛けの方法など、具体的な事例を挙げながら学び、考えていきます。また質疑応答の時間も設けて、個別の事例にもお答えします。

日 時：平成24年8月21日（火）  
午後2時～4時

（講座修了後、個別相談できます）

場 所：草津まちづくりセンター 309号室

参加費：無料

対 象：不登校・ひきこもり・発達障がい等の課題をもった子ども  
若者と関わっておられる方や保護者  
中学・高等学校の教員、養護教員、ヤングサポーター等

講 師： 金馬宗昭（ECC 学園高等学校 教頭）  
講演テーマ『不登校の子どもが幸せになる方法』

コメンテータ：鈴木正樹（アットスクール代表）  
特別支援教育士 教育カウンセラー

主催：ECC 学園高等学校 共催：アットスクール  
後援：草津市教育委員会／大津市教育委員会（申請中）  
問い合わせ先：ECC 学園高等学校（電話）24-8101

## 講演内容紹介

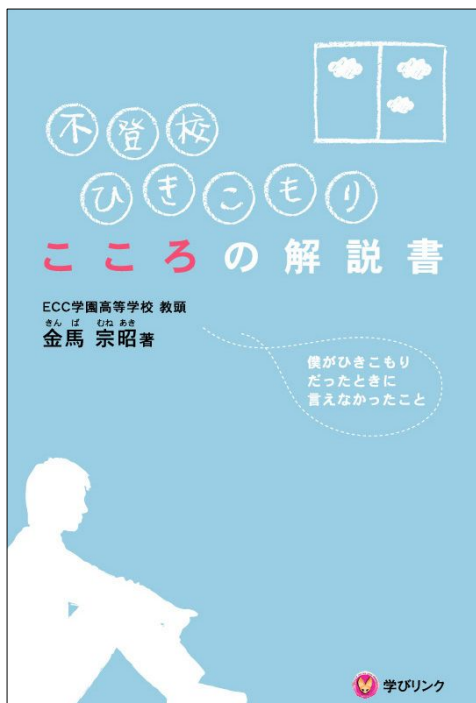
### 講演テーマ「不登校の子どもが幸せになる方法」

人は自信を失うと目的を失い、自己否定をはじめます。それが、中高生ならば不登校やひきこもりに繋がっていきます。そのような子どもに対し、「待つ」ことも大切ですが、もっと大切なことは待つ間に、周囲の人がその子どものことを「分かろうとする」ことです。

家族や周囲の理解を得て、家庭での居心地が良くなって十分に満足すると、ひきこもっていた子どもは次のステップ（居場所）へ踏み出します。そこは教育支援センターであったり、フリースクールであったり、あるいは学校であるかもしれません。そこで友人をつくったり、アルバイトをしたり、いろいろな経験を積んで自分らしさを見つけ、同時に自信をつけていきます。でもその場所にずっと居られる訳ではなく、一定期間が過ぎると就職して社会に出たり、次の学校へ進学していかなければなりません。でも次の世界に足を踏み入れた若者たちが、「幸せ」になれるかどうかは、居場所で「幸せになる方法」を身につけられるかどうかにかかっています。

講演者は、自身が20代後半にひきこもりの経験を持ち、ECC 学園高等学校に勤めながら不登校や発達障がい等の課題をもった子どもたちとの関わりの中で実感してきた「幸せになる方法」を具体的な事例を通してお話しする予定です。

ECC 学園高等学校教頭 金馬宗昭



「不登校、ひきこもり —こころの解説書」  
ひきこもりだったときに言えなかったこと

出版社：学びリンク

かっこわるい自分と真摯に向き合う体験記に胸えぐられ  
示唆に富む教育のカタチに心打たれ  
支え続けた人の存在に思い至る——

## 3度泣ける教育書

